



国際情報学院中だより

No.06 令和8年10月19日



教育目標：共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成

校訓：明朗 礼節 進取 自律



一人一人の個性と情熱が生んだ感動！

～K J生の底力が見られたK J祭となりました～

10月3日（土）、令和8年度K J祭が開催されました。限られた準備期間ではありましたが、生徒たちは仲間と力を合わせ、見事な学校祭を創り上げてくれました。

そこには、一人一人が自分らしさを発揮し、情熱をもって取り組む、まさに今年度のテーマ「個性(Origin)と情熱 (Drive)」を体現するK J生の姿がありました。

中でも、何より心を動かされたのは3年生の合唱です。最高学年としての意地と誇り、そして仲間と積み重ねてきた日々が伝わってくる圧巻の歌声でした。私自身、鳥肌が立ち、涙をこらえるのが精一杯でした。参観された保護者の方からも、「3年生の合唱では、わが子の学年ではないのに泣きました」「親としては感動ポイント100万点をあげたいです」など、心温まる感想をいただきました。人の心を動かすほどの歌声を創り上げた生徒たちを、心から誇りに思います。

また、学年の枠を超えた各グループの発表も見事でした。上級生が下級生をリードしながら、演劇やダンス、音楽など、それぞれの個性を生かして一つの作品を創り上げる姿は、まさにK Jのよさを象徴するものでした。さらに、迫力ある吹奏楽部の演奏や堂々とした英語暗唱・弁論、生徒会による趣向を凝らした開・閉祭式など、随所にK J生の底力が感じられました。

今回、参観者アンケートには65件ものご回答をいただきました。「生徒たちの自発的な活動の様子が見られて感動しました」「子ども達が熱狂したり、楽しんだりしている姿、そして人を応援する姿に感動しました」など、たくさんの温かな言葉が寄せられました。生徒たちの努力や成長を、これほど多くの方々に認めていただけたことを、本当にうれしく思います。

素晴らしい発表の裏には、仲間と励まし合い、時には悩みながらも努力を重ねてきた日々があります。そして何より、自分たちの手でK J祭を成功させようとする強い思いがありました。今回のK J祭は、そんな生徒たちの主体性と仲間を思いやる心が生み出した感動に満ちた一日だったと思います。

K J生には、まだまだ大きな力がある！今回見せてくれたその力を、これからの学校生活でも存分に発揮してくれることを期待しています。

最後になりますが、ご来校いただいた皆様、そして日頃から生徒たちの活動を温かく支えてくださっている保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

写 真

写 真



メタバーズで世界とつながる！

～新しい国際交流のカタチ～

10月15日（木）、本校高校生が韓国の交流校「ソンジョン国際観光高校」の生徒たちとオンライン交流を行い、中学生の希望者もその様子を見学しました。

今回の交流で特徴的だったのは、「メタバーズ」と呼ばれる仮想空間を活用したことです。両校の生徒がそれぞれアバター（自分の分身となるキャラクター）を操作し、同じ仮想空間に集まって交流するという、まさに「国際情報学院」らしい取組でした。私自身、実際にメタバーズを活用する様子を見るのは初めてであり、国際交流の新たな可能性を感じました。

中学生が見学した時間帯には、本校高校生が韓国を訪問して感じたことなどをプレゼンテーション形式で発表していました。残念ながら、その後に行われた両校生徒の自由なやり取りまでは見学できませんでしたが、高校生になると、このような新しい技術を使って海外の仲間とつながる機会があることを知る、貴重な経験になったと思います。

今後は、中学生も見学するだけでなく、海外の生徒に質問したり、自分の考えを伝えたりする機会が生まれることを期待しています。距離や国境を越えて人とつながることができる時代。KJ生には、こうした新しい技術も積極的に活用しながら、世界へと視野を広げていってほしいと願っています。

写 真

受け継がれるKJのボランティア精神

10月16日（金）の放課後、生徒会が中心となって清掃ボランティアを実施しました。本校では毎年、有志の生徒が通学路として利用させていただいている「わかくさロード」を中心に、学校周辺を清掃することが伝統となっています。

今年度も生徒会が参加を呼びかけたところ、予想を上回る生徒が参加を申し出てくれました。生徒会メンバーを含め、なんと全校生徒の約3人に1人に当たる総勢50名！急遽、玄関や駐輪場の清掃、学校花壇の片付けも活動に加えることになりました。これほど多くの生徒が「自分も力になりたい」と手を挙げてくれたことを、本当にうれしく思います。

当日は朝からの雨も昼頃には上がり、絶好の活動日となりました。生徒たちは仲間と声を掛け合い、時には笑顔を交わしながら、和気あいあいと作業に取り組んでいました。春から私たちの目と心を楽しませてくれたマリーゴールドの片付けも進み、学校周辺や校内がすっきりときれいになりました。

誰かのために自ら進んで行動し、その活動さえも仲間と楽しむ。こうした姿勢こそ、KJ生の大きな魅力です。行事での華やかな活躍も素晴らしいですが、笑顔で力を合わせ、学校や地域のために汗を流す姿もまた、大いに誇ってよいKJ生の姿だと思います。

先輩たちから受け継がれてきたこの温かなボランティア精神が、これからもKJのよき伝統として引き継がれることを願っています。

企画・運営を担った生徒会メンバーをはじめ、活動に参加した50名の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました！



写 真